

岩手大学

岩手大学広報誌
IWATE UNIVERSITY

Vol. 48 AUGUST
2021.8

INDEX

- P1...楽しく・豊かな大学生活のために 岩大生をつなぐ架け橋 岩手大学学生委員会
- P2...研究紹介 ●ビッグデータからの知識発見～実用性の高いデータマイニング研究～ 理工学部 システム創成工学科 准教授 張 建偉
- P3...キャンパスライフ ●サークル紹介 ●男子ラクロス部/野鳥の会
- P4...ゼミ紹介!!ほか セミナー紹介!! ●盛岡市 農林部 農政課 林 大和さん
- TOPICS ●岩手大学ビジョン 2030 についてほか Information ●Web オープンキャンパスを実施!ほか

楽しく・豊かな大学生活のために 岩大生をつなぐ架け橋

岩手大学学生委員会

取材者氏名 i-Connect社員

- 人文社会科学部 4年 窪田 あずさ (左)
- 教育学部 3年 北村 佳瑞葉 (右)



新入生歓迎実行委員会

受験生の支援や新入生が大学生活に慣れ親しむための支援を目的とした、1・2年生で構成されている委員会。現在133名が在籍中。

男女共同参画推進委員会

2011年5月に設立された学生委員会。学生目線で男女共同や平等について調査や情報発信を行なっている。

Q どのような活動をしていますか？

A 入試の時には受験会場の案内をしたり、新入生交流会の企画・運営をしたりしています。また、オープンキャンパスや不來方祭では『岩大生と話そう!』という受験生と岩大生が交流する機会を作るイベントを行っています。昨年度はコロナの影響でオープンキャンパスを開催できなかったため、学務課と協力し『岩大生と話そう!』をオンラインで行いました。



Q やりがいを感じる瞬間は？

A 相手に感謝された時です。会場案内をしていて、緊張と不安でいっぱいであろう受験生から「ありがとう」という言葉を頂いた時、この活動をやっていると嬉しいです。



Q 今後の目標を教えてください



A 今年もコロナ禍でオープンキャンパスが中止となってしまったため、オンラインによるイベントに力を入れていきたいと思っています。また、今年は『憩いの場』という先輩と新入生のタテのつながりを広げることを目的とした交流イベントを企画しています。現在100名以上と大所帯に見えますが、協力してくれる人がいればいほど良い活動ができるので、今からでも興味のある人はTwitterなどに連絡をお願いします!

●取材に協力してくれた方——
代表 農学部 森林科学科
2年 宇佐美 直輝さん (宮城県多賀城高等学校出身)



Q どのような活動をしていますか？

A 「学生目線で男女平等や男女共同について考え、それによって学生生活をより快適なものにしていく」というのが、この委員会の1番の目的です。その目的を達成するために、大学内外での情報発信を行なっています。これまでは、学外では国立女性教育会館にて2017年のフォーラムにおいて発表の場を設けていただいたり、学内においては文化祭ワークショップ絵本の読み聞かせなどを行ったりをしています。また、生理の貧困に関わる実態調査等、学生向けのアンケートによって情報収集を行なっていくというのも主な活動の1つになります。



Q 始めたきっかけはなんですか？

A はじめは学問的な興味から始まったものでした。日本史の教科書には、女性の歴史や女性の人物があまり出てこないと感じることがあり、その背景には社会的に男女の不平等があるということを知りました。そのような中で現代の社会にも同様の問題があると感じたために、このような男女平等について取り組んでみようと思い活動に参加することとなりました。

Q 後輩となるみなさんにメッセージをお願いします！

A 「なぜ名簿において女子は男子の後ろなのだろう」と疑問に思ったことがきっかけであるなど、現在所属しているメンバーが活動を始めた動機は様々です。男女平等や男女共同というものは言葉にすると固く感じるかもしれませんが、性別や年齢に関わりなく考えていべき問題だと考えています。女性の関心が高くなりがちなテーマではありますが、性別や年齢に縛られず、みんなが住みやすい環境を作っていきたいと考える方と一緒に活動していきたいです。

●取材に協力してくれた方——
代表 人文社会科学部 人間文化課程
4年 田中 優里子さん (岩手県立盛岡第三高等学校出身)

ビッグデータからの知識発見と実用性の高いデータマイニング研究



理工学部 システム創成工学科
准教授 張 建偉

インターネットの普及とIT技術の進化によって、様々な種類の膨大なビッグデータが生成・蓄積されています。このビッグデータから有用な情報や知識を掘り起こす「データマイニング」と呼ばれる研究を進めています。データマイニングは様々な分野で活用されていますが、私の取り組んでいる研究事例を紹介いたします。

① ネットいじめの自動検出

近年、Twitter・Facebook・InstagramなどのSNSは、情報発信や情報収集の手段として便利なサービスである一方、ネット上のいじめが深刻な問題となっています。ネットいじめの自動検出に係る研究はほとんどが英語データであり、日本語データの分析はまだ少なく、特徴量の分析が不十分です。よって、日本語データを対象とし、特徴量の分析を行い、ネットいじめを精度よく自動的に検出する技術の開発を目的としています。

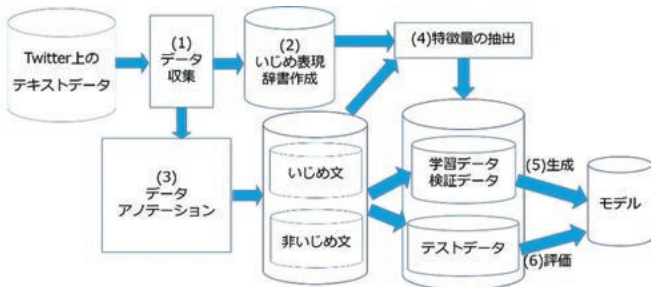


図1: ネットいじめ自動検出の流れ

② 偽情報の自動検出

SNSは有益な情報源として活動できる反面、事実とは異なった偽情報がユーザーへ拡散され、世間に悪影響を及ぼす場合があります。手作業では、SNS上の無数のデータを追跡することは難しく、情報が誤っていると分かる頃には既に拡散済みである場合が多いです。そのため、偽情報を自動的に、より早く検出する技術の開発を行っています。

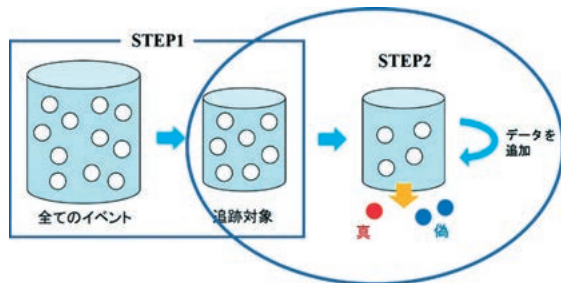


図2: 偽情報早期検出の流れ

Twitterを対象とし、データの発生規模と時系列を考慮した、機械学習による手法を提案しています(図2)。検出手法は2段階のフェーズに分けられます。STEP1では、イベントの発生初期に真偽の決定を試み、偽情報の早期検出を図ると共に、真偽が決定された一部のイベントを追跡対象から取り除くことで、検出効率を向上させます。STEP2では、STEP1で真偽を判別できなかったイベントを追跡対象とし、時系列に沿って真偽を判別していきます。STEP1、STEP2とも最適なモデルを特定し、提案手法を用いることで、イベントの発生から35時間以内に約100%のイベントを検出できています。

③ 攻撃に強い推薦システムの開発

Amazonや楽天などの電子商取引システムや通販サイトで、多数のユーザーの評価を元に商品を推薦するために協調フィルタリングという情報推薦の手法が広く用いられています。が、協調フィルタリング手法の欠点の一つとして、特定の商品の評価値を歪める悪意のあるユーザーからの攻撃が挙げられます。その欠点を解消するため、対象データにクラスターリングを施し、クラスターごとに評価値を予測することで攻撃に対する情報推薦システムのロバスト性を向上させます。しかし、攻撃ユーザーが多くの一般のユーザーに似ている場合、ユーザーのクラスターリングを行うことでかえって攻撃の影響を増大させることも考えられるため、分割されたクラスターに対して再度クラスターリングを行うクラスター内のデータを大きくすることによって、精度をある程度維持したまま攻撃の影響を抑えることを図っています(図3)。実験で攻撃前後での誤差の差分を計測し、攻撃に対する影響の大きさを調査した結果、提案手法は攻撃の影響を抑えるのに有用であることを確認できています。

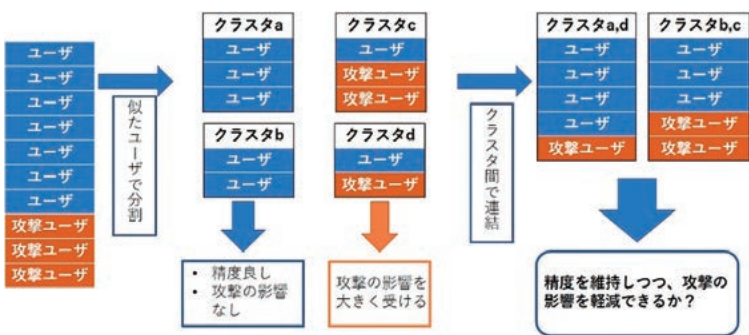


図3: 推薦システム予測の流れ

④ 金融市場における低リスク投資行動の学習

金融市場は景気や為替などの経済的要因や、政局などの経済外的要因などが関わり変動するため、確実な状態予測や取引戦略の構築が困難です。そのため、金融市場において保有する資産価値が低下するリスクを防ぎつつ利益を最大化させるような投資行動を分布型強化学習という手法を用いて学習する手法を提案しています(図4)。分布強化学習は、各行動の評価値を分布に拡張して、ある行動で得られる報酬の期待値だけでなく、定義した報酬の値の範囲で各報酬が得られる期待値を分散分布で学習することができ、期待リターンを分布で保持して行動決定のための計算に利用するため、投資行動の安定化や低リスク化の改善に有用であると考えられます。10年分の日経225に含まれる銘柄のヒストリカルデータを用いて実験を行い、分布強化学習を用いた提案手法は評価値の標準偏差について優れていたため、低リスクな投資行動を学習できています。

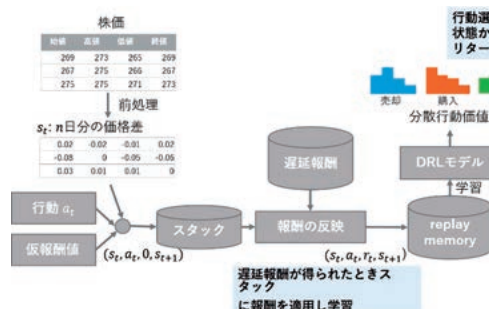


図4: 投資行動学習の流れ

データマイニング研究分野では、ネットいじめや偽情報の拡散を防ぐような社会貢献ができる研究や、商品推薦や金融投資を頑健に改善するようなビジネスにつながる研究など、多くの実用的なテーマがチャレンジできます。ビッグデータの活用はまだ成長期にあるとはいえ、データマイニングは今後も重要な役割を果たし続けることでしょう。

GANDAI UPDATES

岩手大学公式 Facebook に掲載した広報室学生スタッフの記事より、反響が大きかったものをご紹介します！

キャンパス探訪

こんにちは！春も過ぎ、暖かいどころか蒸し暑いと感じる日も増えてきましたね。扇風機を使い始めるのもまもなくでしょうか…。人文社会科学部4年の窪田です。

岩手大学では現在対面授業が行われていますが、コロナウイルスの自粛ムードもあり、学内全体を散策する機会は少ないでしょう。そんな状況でも、Facebookを通してみなさんに岩大キャンパスについて詳しく知ってもらえればと思います。

今回は、学生センターB棟の国際課フリースペースを紹介！学内に数ある休憩スペースの中でも特に明るくオシャレな雰囲気のあるここでは、英字新聞や外国語の書籍が閲覧可能となっています。書籍は誰もが知っている人気コミックスから、「英語シナリオで読む名作映画」というものまで…国際交流に興味のある方だけでなく、自動販売機もあるため、「心地よい場所で休憩したい…」という方も、ここに来ればなかなか充実した時間が過ごせるのではないかと思います。

人文社会科学部生でも、このスペースをじっくり見たことがない、という人は案外多いのではないのでしょうか？（私自身4年生になって初めて使用しました…）



学部によってガラリと空気が変わる岩手大学、コロナ禍が過ぎたら、是非隅々まで探検してみてください！

サークル紹介 男子ラクロス部

今回は男子ラクロス部代表の菅原章弘さんに取材協力していただき、男子ラクロス部さんの活動や魅力についてお聞きしました。



取材にご協力いただいた方
代表 理工学部 システム創成工学科
4年 菅原 章弘さん
(宮城県仙台第三高等学校出身)

男子ラクロス部はプレーヤー28人、マネージャー12人が所属する部活です。今年度は、コロナウイルスの影響で大会がまだありませんが、昨年度の特別大会では準優勝を収めました。

普段は週5回、朝の6時から9時まで活動しています。平日の練習では、個人に特化した試合の1シーン1シーンに対応できるように練習を行い、休日の練習では平日の練習の成果を生かせるように、試合を想定した練習を行っています。

菅原さんが入部したきっかけを教えてください。まず、男子ラクロス部では東北代表や日本代表を目指すことができることに魅力を感じたのがきっかけです。そして、部内の雰囲気が良いところにも魅力、入部を決めました。

男子ラクロス部さんの魅力を教えてください。なんととっても熱い青春を送ることができることです。熱量の多い部員全員が丸となって練習に励み、試合に勝つことができたときの達成感は素晴らしいものです。また、ほとんどの部員が大学に入学してからラクロスを始めるので、練習すればするほど



と成果を得やすいことも魅力です。僕自身、ラクロス未経験者ではありませんが練習を積み重ね、新人戦で優勝することができました。今後の目標を教えてください。8月に行われるリーグ戦で優勝することです。東北代表を目指し、頑張ります。

朝早くから練習に励み部員たちと高みを目指す男子ラクロス部さん。その活動は、大学生でしか味わえない熱い青春そのものでした。ぜひその闘志で、東北代表になってほしいですね。

取材者氏名 i-Connect社員

- 人文社会科学部4年 窪田 あずさ(左)
- 人文社会科学部2年 澤口 花咲(右)



サークル紹介 野鳥の会

自転車にはカラスが留まり、夕方には白鳥が飛ぶ。大学生活の中で私たちはさまざまな鳥を目にしています。今回は、「鳥」を追い求めるサークルを紹介！



取材にご協力いただいた方
代表 農学部 森林科学科
3年 齋藤 楓華さん
(宮城県石巻高等学校出身)

野鳥の会はいつだった団体ですか？部員は約50人。野鳥オタクがいっぱいいる…と思われがちですが、そんなことはありません。「自然が好き」「人と話すのが好き」と、いろんな人たちが集まった楽しいサークルです。

どのような活動をしていますか？週に2回、朝に高松の池で探鳥をし、月1で滝沢演習林、夏には御明神演習林で探鳥の会を行います。また、年に3、4回遠征をし、日常では見られない鳥を探しに行くこともあります。東北地域環境計画研究会、日本野鳥の会、岩手県の皆さんと共に、希少種やワシの保護活動も行なっています。



野鳥の会の魅力は？自由なところです。活動にノルマがあるわけではないので、来たい時に参加することができます。また、探鳥は一人でも行えますが、大勢で行くことで一人では気づけなかった鳥の姿や生態を知ることが

できるため、「みんなでやる」ことの楽しさを味わえることも魅力です。

入部のきっかけは？高校の地理の先生が野鳥に詳しく、野鳥に関する情報を聞いていたことで、「もっと知りたい！」と思うようになったのがきっかけです。入会してから、実際に野鳥について色々知ることができ、日常生活が楽しくなりました！

好きな鳥とその理由は？色々あって迷いますが…強いてあげるなら小鳥です。小さくてかわいいうだけでなく、小さな体から森に響き渡るような声を出したり、大きな鳥に向かって必死に威嚇したりと、小さいながらも懸命に声を出し仲間と協力しながら生きる姿が人間に似ているなあ…と感じています。

学生皆さんにメッセージを！野鳥の会に入ってから、様々な鳥について知ることができ、自分の世界が広がりました。野鳥の会に限らず、サークルに入ることによって色々なことに気づき、世界を広げてほしいと思います。

野鳥への愛が伝わるコメントでした。取材時では聞こえてきた鳴き声から鳥の名前を推測するというスキルを見せられました。生活に新たな発見を与えられるサークル活動、みなさんもぜひ夢になれるものを見つけ、より楽しい学生生活を送ってください！



i-Connect 通信欄

i-Connect 3年目活動開始！

こんにちは！i-Connectの窪田です！6月に学内カンパニーの認定式が行われ、いよいよi-Connectも本格的に活動が始まりました！今年度は社員のほとんどが新メンバーということで、活動も体制と合わせてどんどん新しいことにチャレンジしていきたいと思っております！



さて、学内の課外活動は許可こそされていますが、昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により、大型の企画や広報活動が行いづらい状況が続いています。i-Connectも現在はZOOMなどを活用して取材やミーティングをしています。リモート生活2年目ということもあり、オンラインでもログインや会話に戸惑うことなく、スムーズに仕事を進められるようになりました。また、現時点でも多くの学内団体から広報の依頼を受けており、「コロナ禍でも負けない！」という岩大生の心意気を感じています。コロナ禍によって活動は制限されていますが、「コロナ禍だからこそすべきこと・できること」もたくさんあると思います。i-Connectは「学生と学生、学生と地域をつなぐ広報」という理念のもと、活動を通して、学内団体の知名度の向上だけでなく、こういった岩大生の情熱を学内全体に伝染させ、少しでも皆さんを元気づけるきっかけになればと思います！

まだまだ新メンバーも募集中です。以上、i-Connectからでした！

問い合わせメールアドレス
iconnect.gandai@gmail.com
i-Connect Twitter アカウント▶▶▶▶▶▶



Introduction to a senior

センパイ紹介!!

OB-INTERVIEW
インタビュー

第46回



盛岡市職員

PROFILE
はやし ひろかず
林 大和 さん

青森県八戸市生まれ、平成31年3月農学部共生環境課程・共生環境学コース(当時)卒業
盛岡市 農林部 農政課

Q1 在学当時の思い出をお聞かせください。

私は入学時に、「大学では本当に好きなことしかしない」と決めていたので、サークルなどは何もせず、自由気ままに大学生活を送っていました。

その中でも4年次の頃は、卒業研究で自分の本当に興味のあることを学ぶことができ、また、就活はあったものの自由な時間が一番多い年でしたので、最も充実していたと思います。

Q2 現在のお仕事に就かれたきっかけはどのようなことですか？

就職を考えた当初は、興味があった動物や自然関係の仕事、特に「動植物と働く」仕事を探したり考えたりしましたが、自分の理想とは違ったり、そもそも稼いでいくことが難しかったりで、あえなく断念しました。

しかし、職探しの過程で、「動植物や自然環境を、公務の立場から見ることがあるのでは？」と思い、併せて「どうせなら地元の盛岡か滝沢に貢献したい」と考えたことが、盛岡市職員になったきっかけです。

Q3 仕事のやりがいや今後の目標をお聞かせください。

私の担当している仕事は、優良農地を守るための法律関係が主であり、言ってしまうと土地がらみのため、様々な権利や利益が絡む非常に重い内容です。重要な仕事を任せていただいている反面、責任重大であり、頭を抱えることもあります。

だからこそ、私は職場の環境を良くして少しでも楽しく働くことを目標としています。盛岡市職員になって3年目、楽しく働く上で気づいた最も重要なことは、「無駄話は無駄じゃない」ことでした。

Q4 後輩となる岩大生へメッセージをお願いします。

大学生活は、人生で最長の自由に動ける期間だと思います。一方で、社会に出る前の準備期間でもあります。私自身そうではなかったため、遊ぶより勉強するべきとは言いませんが、何をやるにしてもよく考えてください。充実した思考力を身に着ければ、遊ぶにしても勉強するにしても、働くにしても大いに役に立ちます。

それから「やりたいことに挑戦する」ことも重要です。様々なことに取り組み、社会に出る前に自分の可能性を探してみると、意外な道筋が見えるかもしれません。

TOPICS トピックス

岩手大学ビジョン2030について

岩手大学が2030年を見据え、目指すべき方向性を示すものとして『岩手大学ビジョン2030』を策定しました。ホームページに特設ページを開設しましたので、ぜひご覧ください。

岩手大学ビジョン2030

岩手大学は、よりよい未来を創造する「地域の知の府」「知識創造の場」として、地域に頼られ、尊敬され、愛される大学となる

行動規範

共考と協創

(共に考え、協力して創る)

岩手大学ビジョン2030
特設ページ



**大学ブランディングの推進に向けて
3名に広報担当理事特別補佐を委嘱！**

本学では、大学の機能強化をはじめとする特色ある取組やその成果を学内外に情報発信するため、大学広報の在り方や大学ブランディングについて、有識者等の意見を聴取する機会を設け改善を図っているところです。今年度は、令和3年5月1日から令和4年3月31日までの任期で、3名に広報担当理事特別補佐を委嘱し、ブランディングの推進に向けて議論を始めました。今年度は大学ブランディング推進の一つとして、大学名称の書体やスクールカラーの明確化等を進める予定です。



打ち合わせの様子。写真左から藤代理事、境氏、田中教授、佐々木氏

広報担当理事特別補佐

- ・人文社会科学部 田中 隆 充 教授
- ・Hyakka 佐々木 由美子 氏
(クリエイティブディレクター、プロダクトデザイナー)
- ・FROM NIPPON 境 悠 作 氏(プロダクトデザイナー)

「ガンダイニング」今年も放送予定！

岩手大学を紹介するテレビ番組、「ガンダイニング」を今年も放送いたします。10月から12月にかけて、岩手大学の様々な活動や魅力にスポットをあて、学生生活・研究・地域貢献などの情報を、地域の皆様に発信していきます。

放送日:10月5日スタート 毎週火曜18:55~18:58(24:55~24:58)

IBC岩手放送(TBS系列)

岩手県在住の方以外にもご覧いただけるように、後日、公式YouTubeに動画を掲載します。

Information

Web オープンキャンパスを実施！

例年8月に実施しているオープンキャンパスについてですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となり、今年度もWebオープンキャンパスを実施することになりました。本学のホームページからご覧いただけますので、ぜひご覧ください。

岩手大学ホームページ



岩手大学公式ソーシャルメディアのご案内

岩手大学公式 Facebook、YouTube、学長 Twitter を更新中！Facebook には、学内カンパニー『i-Connect』の学生が取材した記事も掲載しています。ぜひ覗いてみてください。



岩手大学公式 Facebook :

<https://www.facebook.com/iwate.u>

岩手大学公式 YouTube チャンネル :

<https://www.youtube.com/channel/UC8ua2BprbPkSvGSMYwK1aOA>



小川学長 Twitter :

https://twitter.com/iwateu_gakucho



高校生・受験生向けサイト運営中！

各学部の情報、入試情報、先輩の声など、高校生の皆様向けの情報をまとめた高校生・受験生向けサイトをオープンしています。

Web オープンキャンパスと併せて、ぜひご覧ください。



**岩手大学イーハトーヴ基金へのご協力について
～今般の新型コロナウイルス感染症に関連して～**

岩手大学では、教育研究の充実をもとより、学生に対する修学支援の一層の推進を図るため、平成27年度に「岩手大学イーハトーヴ基金」を創設しました。本基金は、本学の教育研究や学生支援を幅広く展開することを目的とした「一般基金」と、東日本大震災により被害に遭った学生たちへの修学支援など、使途を特定した「特定基金」で構成され、これまで、企業・団体や個人の皆様など多くの方々からご支援をいただいております。

また、今般の新型コロナウイルス感染症の影響を受け、経済的に困窮する学生への支援を拡充するため、岩手大学イーハトーヴ基金の特定基金である『修学支援事業基金』へのご寄附にご協力をお願いしております。

最新の特定基金情報、寄附の申込・払込方法については、お手数ですが、イーハトーヴ基金ホームページをご覧ください。

岩手大学イーハトーヴ基金ホームページ :

<https://www.iwate-u.ac.jp/ihatovkikin/index.html>



お問い合わせ先
岩手大学 法人運営部 基金室 (平日午前9時~午後5時)
〒020-8550 盛岡市上田3-18-8
TEL:019-621-6091 FAX:019-621-6014

Hi!こちら岩手大学

岩手大学広報誌
IWATE UNIVERSITY Vol.48 AUGUST 2021.8

編集後記

スイカやかき氷の美味しい季節となりました。いつもなら、オープンキャンパスで、たくさんの高校生を迎えるのですが、今年もWeb上での開催となります。さんさ踊りも残念ながら中止となりました。

諸行事の中止が続きますが、新しい大学の魅力や地域の資源を見直すよいチャンスかもしれません。

季節はめぐります。岩手の大自然とそのめぐみを存分に楽しみましょう。これからも地域に根差した岩手大学の魅力を発信していきます。

Hi!こちら岩手大学 vol.48

岩手大学広報室広報誌専門部会
2021年8月 発行

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8

電話 019-621-6015 FAX 019-621-6014

E-mail:kkoho@iwate-u.ac.jp <https://www.iwate-u.ac.jp/>

本誌へのご意見・ご感想をおまちしております。